



## マレーシアで得たたくさんの記憶

稲中 瑞希

私はマレーシアに行く前、まったく想像のできない国に行くことが少し不安でした。正直、私はマレーシアが発展途上にある国だと聞いていたので日本より不便で貧困の地域が多い国というイメージを持っていました。しかし、いざマレーシアについて、私が見た景色はビルが並ぶきらびやかな町でした。どこが発展途上国なのだろうと思いました。現地の JICA 事務所でなぜここまでマレーシアが発展できたかそしてマレーシアと日本の関係性について学びました。日本は東方政策の影響もあり、昔からマレーシアと友好的関係を築いてきました。マレーシアが短期間で急成長できたのは、日本が多方面から様々な支援を根強く続けてきたからです。ただ金銭面を支援したりするのではなく日本の協力隊員がボランティアの現場で現地の人とともに一生懸命マレーシアをより良い国にしようとしたことが今につながったのだと思います。先進国になるためにはまだ環境問題などの課題はあるけれど、今回の研修で訪れた施設で現地の方の問題意識を高めようとしている日本人がいて人と人とのつながりや本当の国際協力の意味を感じることができました。そして今回の研修ではたくさんのマレーシアの方とお話しさせていただきました。みなさんが本当に温かく接して

くださってとても楽しかったです。この人の温かさこそがマレーシアの最大の魅力だと感じました。言語も文化も何もかもが違うけれどコミュニケーションをとってみるとその壁はすぐに壊すことができました。こうやって世界はどんどんつながっていくのだと感じました。私は将来、その架け橋になりたいと思いました。